

# 第90回 宗教改革②

## 1 皇帝とルター派との対立と妥協

- 16世紀前半、神聖ローマ帝国には、ルター派の相手をする余裕は全くなかった。
- ( ) とのイタリア戦争は、さらに激しさを増していた。
- イスラーム勢力の ( ) が、1526年にハンガリーを征服した。  
→そして1529年には、神聖ローマ帝国の都 ( ) を包囲した。

- カール5世は、神聖ローマ帝国があるドイツ地域の混乱をとりあえずおさめるために、一時的にルター派を認めた。  
→しかしオスマン軍が撤退すると、シュパイアー帝国議会でルター派を再禁止した。  
→ルター派は、この皇帝の行動に対して激しく抗議した。  
→そのためルター派は、( ) と呼ばれるようになった。  
※後にルター派以外も含む新教全体をこう呼ぶようになった。



フランス王フランソワ1世

ヴァロワ朝のフランス王で、カール5世の最大のライバルとされる。芸術の保護者としても知られ、あのレオナルド・ダ・ヴィンチを保護したことで有名。



神聖ローマ皇帝カール5世

なんだかんで16世紀前半の最も重要な人物のひとりだろう。好きな食べ物は、よく冷えたビールとアンチョビ。性格はお人好し。



オスマン帝国のスレイマン1世

オスマン帝国は、当時世界最強の国であり、スレイマン1世の時に最盛期を迎えていた。地中海を支配し、貿易で莫大な富を生み出していた。第80回を復習。

- 1530年、さらにルター派の諸侯は、( ) を結成して、皇帝に武力で対抗した。  
→1546年には、皇帝とルター派諸侯との間で、シュマルカルデン戦争が発生した。  
→1555年、( ) で、両者は一応妥協した。



ツヴィングリ  
ルターとは、協力しようとしたが、結局一致できなかった。

## 2 スイスの宗教改革

- ドイツ地域に続いて、神聖ローマ帝国から事実上独立していた( ) でも、宗教改革が進められていた。

- ( ) …スイスの( ) で宗教改革を行った。
- ( ) …スイスの( ) で宗教改革を行った。



カルヴァン  
フランス人。ルターと  
ならんで、宗教改革  
におけるビッグネームである。

- カルヴァンは、1536年にバーゼルで出版した『  
』において、ローマ教会の制度を完全に否定した。  
→牧師と信徒の代表である長老が、協力して教会を運営する制度を確立した。  
※これを( ) といい、政教一致の神権政治を行った。

<カトリック・ルター派・カルヴァン派の違い>

(1) どうすれば天国に行って救われるのか？

カトリック … ( ) をすること。

ルター派 … ( ) をすること。「 」

カルヴァン派…

(2) お金もうけはしていいのか？

カトリックとルター派…金もうけはよくないことである。

カルヴァン派 … 労働は神の命ずる義務であり、勤労の結果、  
お金がたまることは悪いことではない。

※ ( )

→カルヴァン派は商工業者のあいだに広く普及した。



マックス=ヴェーバー

近代のドイツの学者。  
『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』のなかで、カルヴァン派の考えが、資本主義発展の原動力となったと主張した。

<カルヴァン派のヨーロッパにおける呼ばれ方>

- ・イングランドでは ( )、スコットランドでは ( )、  
ネーデルラントでは ( )、フランスでは ( ) と呼ばれた。

### 3 カトリックの改革

- ・宗教改革に対して、ローマ教会の内部からも改革の試みが始まった。
- ・1545年、ローマ教皇パウルス3世は、( ) で教皇の至上権を確認するとともに、教会の腐敗をなくして海外布教をすすめることを決めた。  
※この動きを ( ) という。

- ・すでに1534年、カトリックの教えを海外に広めるため、( ) が結成されていた。

( ) …もとスペインの軍人で、イエズス会の初代総長。

( ) …インドや日本において布教活動を行った。

( ) …イタリア人で、中国の明で布教活動を行った。

- ・イエズス会などの活動により、南ヨーロッパにはプロテスタント勢力はひろがらず、アジアや中南米にもカトリックが布教されていった。

- ・またローマ教会は教えの正しさを守るため、異端者を裁く ( ) を行い、禁書目録を作成した。

→この動きは後に ( ) という形で、多くの犠牲を出すこととなった。



ロヨラ

イエズス会の規律は、軍隊並に厳しく、上司には絶対服従とされた。上智大学のイグナチオ教会は、彼にちなんでいる。



ザビエル

頭頂部は、剃っているのであり、ハゲているわけではない。最後は中国で亡くなった。世界史よりも日本史で重要な人物であろう。



魔女狩りの様子

魔女狩りで犠牲となった人は、身寄りのない老人や、孤独な女性が多かったとされる。激しい拷問によって、自白を強制された。